
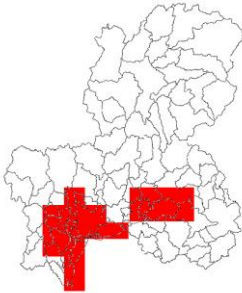


オキナワジュズスゲ	<i>Carex ischnostachya</i> Steud. var. <i>fastigiata</i> T.Koyama	準絶滅危惧
		カヤツリグサ科
選定理由	分布域の一部で生育条件が悪化しているため。	写真(清水英彦) 標本 
形態の特徴	匍匐枝を出さず、叢生する。基部の鞘は無葉身で黒紫色～赤紫色。頂小穂は雄性で、直下の雌小穂より短く、目立たない。雄鱗片は淡褐色、鈍頭。雌小穂は直立。雌鱗片は白色で中脈緑色、鋭頭～鈍頭、果胞より著しく短い。果胞は4mm以下、無毛、有脈、嘴は長く、口部は斜形。花期は5-6月。果胞が小さく、基部の鞘が高い位置まで赤紫色を帯びる点でジュズスゲと異なる。	
生態的特徴	樹林内の路傍や林縁に生育する多年草。	
分布状況	本州(関東以西)・四国・九州・対馬・南西諸島に分布し、岐阜県では県南中部と西部に分布する。	
減少要因	開発に伴う山林伐採。	
保全対策	山林の保全。	
特記事項		
参考文献	勝山輝男. 2005. 「ネイチャーガイド 日本のスゲ」. 文一総合出版, 東京. 星野卓二・正木智美・西本真理子. 2011. 「日本カヤツリグサ科植物図譜」. 平凡社, 東京.	

文責: 清水英彦